

骨盤底機能再建診療部

1. 目的と特徴

本プログラムは医師としての態度、幅広い見識と技能、社会的責任感を習得することはもちろん、高齢社会を迎え急増する、泌尿器科疾患の中でも下部尿路症状を有する膀胱・尿道・前立腺疾患、これまで婦人科で診療されることが多かった子宮脱を始めとする骨盤臓器脱、各種排便障害、性機能障害などの基本的な診断と治療の技術を習得する。本診療部の特徴は、これまで各科で診療されてきた、ひとりの患者が有する複数の症状を骨盤底機能障害と捉えて総括的に診療することである。専門分野であるが、基本となる泌尿器科疾患は上部尿路も含め同時に研修することが可能で、研修修了時には日本泌尿器科学会専門医、日本透析医学会専門医の受験資格を得ることができる。

2. 指導スタッフ

教授 巴 ひかる

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学東医療センター骨盤底機能再建診療部

研修協力施設：東京女子医科大学東医療センター泌尿器科、東京女子医大病院泌尿器科、
東京女子医科大学東医療センター血液浄化部、関連認定病院

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

性差医療を理解し、男女各々の骨盤底機能障害を原因とする疾患（下部尿路症状、骨盤臓器脱、排便障害、性機能障害など）の病態を理解し、診断と治療ができるようになることを目標とする。そのためには骨盤底の解剖や神経支配を理解し、ウロダイナミクスについて習得する。また患者QOL (quality of disease) の重要性について豊富な症例から理解する。臨床症例を詳細に検討し、各種学会での発表や論文執筆ができるようになることも目標とする。

また、本専門分野を理解するうえで必要な一般泌尿器科の幅広い基礎的知識や技術を学び、結果として日本泌尿器科学会専門医資格を取得する。同時に慢性腎不全や血液浄化を主とする透析医療についても学び、日本透析医学会専門医資格を取得する。

B：行動目標

- 1) 骨盤底機能障害および泌尿器科診療に必要な基本的知識と技術を修得し、臨床に応用する。
- 2) 医師、社会人としての態度を身につけ、メディカルスタッフと協力して診療を行う。
- 3) 患者およびその家族と良好なコミュニケーションをとり、診療を行ううえで信頼関係を築く。
- 4) 医療安全管理の基本を理解し、実践する。
- 5) 医療記録（診療録、手術記録、病歴要約、診断書、等）を正確に記載する。
- 6) 骨盤底機能障害および泌尿器科診療に必要な検査、処置、小手術に習熟し、指導医の下で実践する。
- 7) 疾患の病態を理解し、検査計画、治療方針について上級医、指導医と相談し、チーム医療を実践する。
- 8) 症例検討会、各種カンファレンスに参加し、積極的に議論する。
- 9) 骨盤底機能障害および泌尿器科の基本的な手術手技を修得し、指導医の下で執刀する。
- 10) 慢性腎不全の病態を理解し、診断、治療法（血液透析、ブラッド・アクセス）を修得する。
- 11) 関連学会に参加し最新の医療情報を取得し、研究発表、論文の投稿を行う。
- 12) 日本泌尿器科学会専門医を取得する。
- 13) 上記すべてに対して下級後期臨床研修医を指導する。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

基本的なスケジュールを記載するが、変更となる場合がある。

	研修場所	内 容
1年次	病棟中心、外来	術前・術後管理、手術、血液浄化法 検査：泌尿器内視鏡、超音波、生検、排尿機能検査、ほか
2年次	病棟、外来、血液浄化室 女子医大泌尿器科	術前・術後管理、手術、検査、血液浄化法ほか各種 透析療法、腎移植、ほか
3年次	研修病院、 女子医大泌尿器科	術前・術後管理、手術、検査、血液浄化法ほか各種 透析療法、腎移植、ほか
4年次	病棟、外来	術前・術後管理、手術、検査、下級医指導、専門分野 選択、研究、学会発表、論文投稿
5年次	病棟、外来	病棟チーフ、手術、検査、下級医指導、研究、 学会発表、論文作成、専門医試験

D：週間予定

基本的なスケジュールを示す。

適宜、レントゲンカンファランス、CPC、勉強会、学会予選会、等を行っている。

	8:00～	午前	午後	
月	部長回診	病棟、外来処置、検査	検査(レントゲン、生理機)	病棟カンファ
火	病棟医回診	病棟、外来処置、検査	手術	病棟カンファ
水	病棟医回診	病棟、外来処置、検査	検査(レントゲン、生理機)	病棟カンファ
木	合同症例検 討会、医局 会、ほか	病棟、外来処置、検査 手術	手術	
金	部長回診	病棟、外来処置、検査	手術 検査(レントゲン、生理機)	病棟カンファ
土	病棟医回診	病棟、外来処置、検査		

E：評価

スタッフおよび直接の指導医により逐次形成的評価を受ける。後期研修においては臨床的能力とともに研修医に対する指導力も評価の対象となる。

5. 後期臨床研修修了後の進路

東医療センター骨盤底機能再建診療部に就職を希望するものは、スタッフ内で協議され適正に応じて採用も可能とする。

6. 学位

研究論文が掲載された後、東京女子医科大学教授・講座主任と協議のもと、医学博士の学位申請が可能である。臨床大学院生は4年間の研究の後、研究論文を投稿し学位を取得できる。

7. 専門医

社団法人日本泌尿器科学会専門医および指導医、日本透析医学会専門医および指導医の取得が可能である。

8・問い合わせ先

〒116 - 8567 東京都荒川区西尾久2 - 1 - 10

東京女子医科大学東医療センター 骨盤底機能再建診療部

巴 ひかる

TEL : 03 - 3810 - 1111

FAX : 03 - 3810 - 0705

e-mail : tomoeur@twmu.ac.jp